

薬事承認番号：512217907249

輸入販売元

日本アツシュ株式会社

〒192-0045 東京都八王子市大和田町2-7-7
TEL 042-648-5350 FAX 042-648-5332
URL : www.j-asch.co.jp

 ASCH JAPAN Co.,LTD

シリコン製カテーテル 解説	4
成人食道用	6
成人インフュージョン・アスピレーション用	8
成人小腸用	9
成人肛門直腸用	10
ベクトルポリウム用	11
成人幽門洞十二指腸用	11
小児食道用	13
小児肛門直腸用	13
成人下部食道用スリーブカテーテル	14
成人上部食道用スリーブカテーテル	16
成人幽門用スリーブカテーテル	17
成人肛門直腸スリーブカテーテル	18
小児下部食道用スリーブカテーテル	18
小児肛門直腸用スリーブカテーテル	19
新生児食道用スリーブカテーテル	20
新生児幽門用スリーブカテーテル	20
塩ビ製カテーテル 解説	21
食道マノメトリック用	21
小腸マノメトリック用	23
酸負荷マノメトリック用	24
肛門直腸マノメトリック用	24
小児マノメトリック用	26
交換用TPEバルーン	27
交換用ポリオレフィンバルーン	27

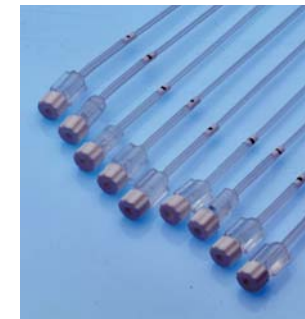
シリコン製カテーテル

シリコン製カテーテルはオートクレーブが可能のため、アルデヒド等の消毒剤がカテーテル全体に行き渡らないことによる不完全滅菌がなくなり、院内感染への万全な対策ができます。また、消毒液残留による事故も防ぐこともできます。シリコン製カテーテルは非常に柔らかく、患者への挿入が容易です。特に小児、新生児への測定に高い許容性が実証できます。

豊富なバリエーション

(標準品で最小直径 2.50mm~最大 4.70mm、最小流量 0.11ml/min)

現在考えられるほぼあらゆる部位での消化管内圧測定を可能にするサイズ・流量のカテーテルを取り備えています。各種実験動物、新生児から成人まで、高精度の測定を可能にします。



サイドホール+スリーブで括約筋圧を正確に測定※

LES圧を従来のサイドホール付きセンサーで測定すると、蠕動によってサイドホールがずれ、正確に測れないことがありました。デントスリーブカテーテルはこのような問題を解決します。

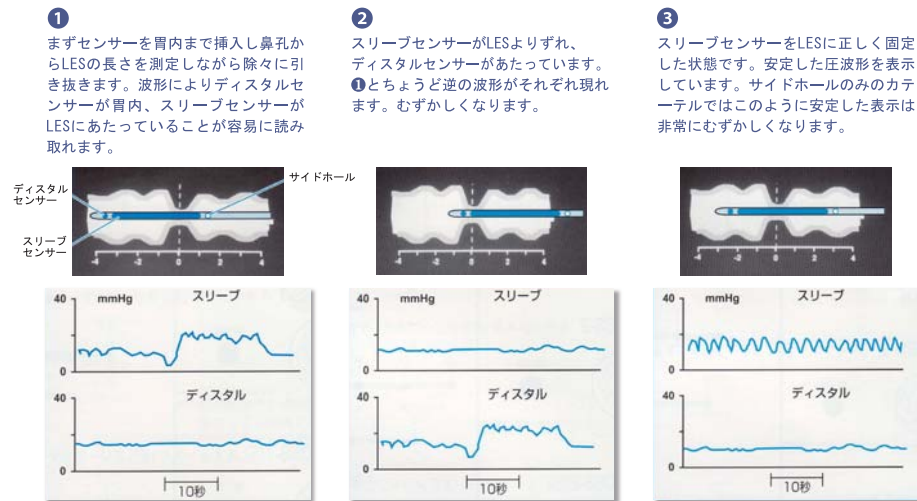


LESにおけるスリーブの留置例

※スリーブ付きカテーテルのみLESの特長的測定が可能です。スリーブとは2~6mm程度の膜でカテーテルを覆うことでその範囲での内圧変化をとらえることができるようにしたものです。

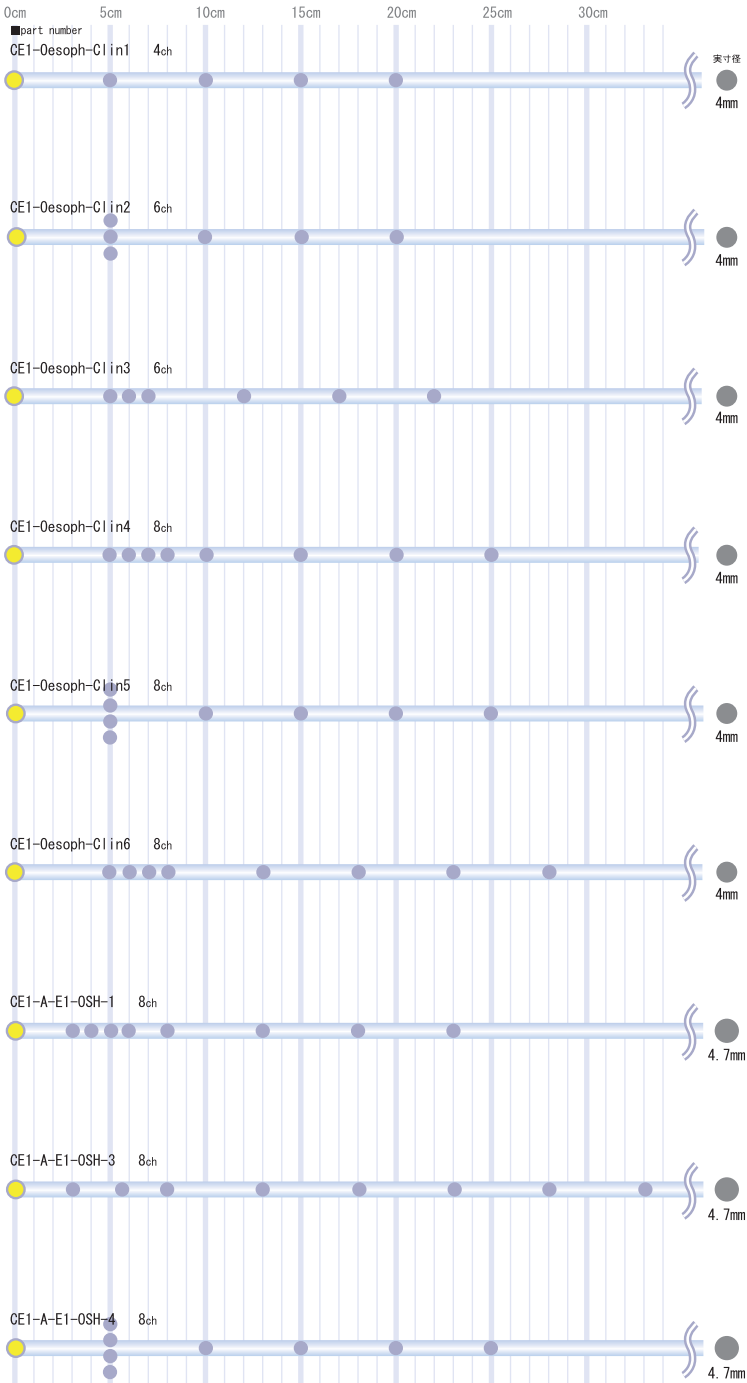


スリーブ断面図



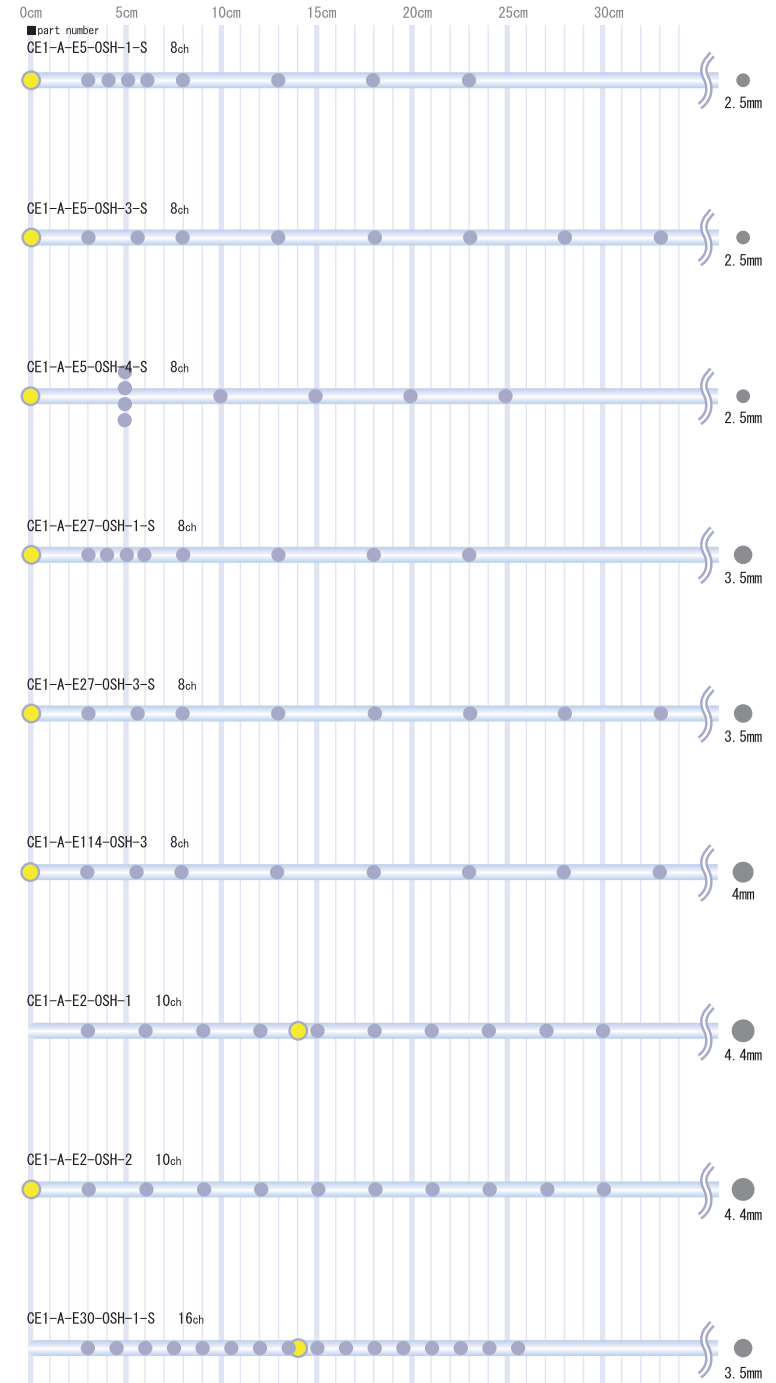
成人食道用

UES（上部括約筋）圧測定用のスリーブ付カテーテルです。咽頭、UES、食道体部と続く一連の内圧変化の測定に用います。



全長：170-180mm
ボディ径：2.5mm-4.7mm

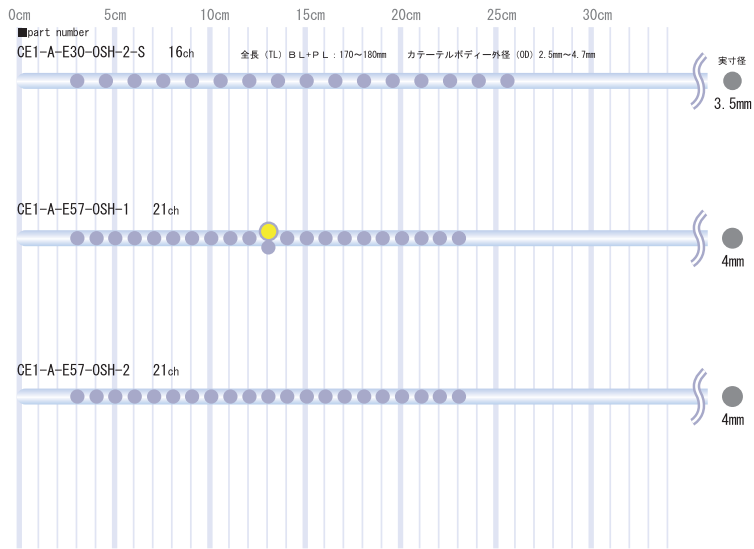
括約筋での測定にはできる限り小さな間隔で配置されたサイドホールを使用をお勧めします。



カテーテルの中心にインフュージョンホールが付いているものはエア・パフュージョンによる食道体部の二次蠕動波の測定に使用できます。

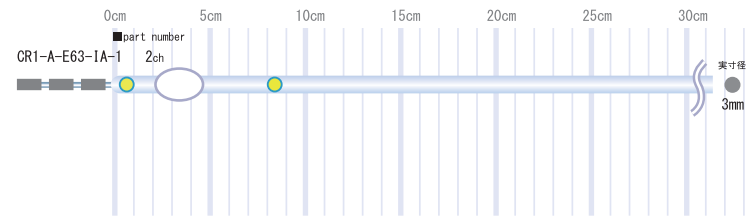
成人食道用

UES（上部括約筋）圧測定用のスリーブ付カテーテルです。咽頭、UES、食道体部と続く一連の内圧変化の測定に用います。



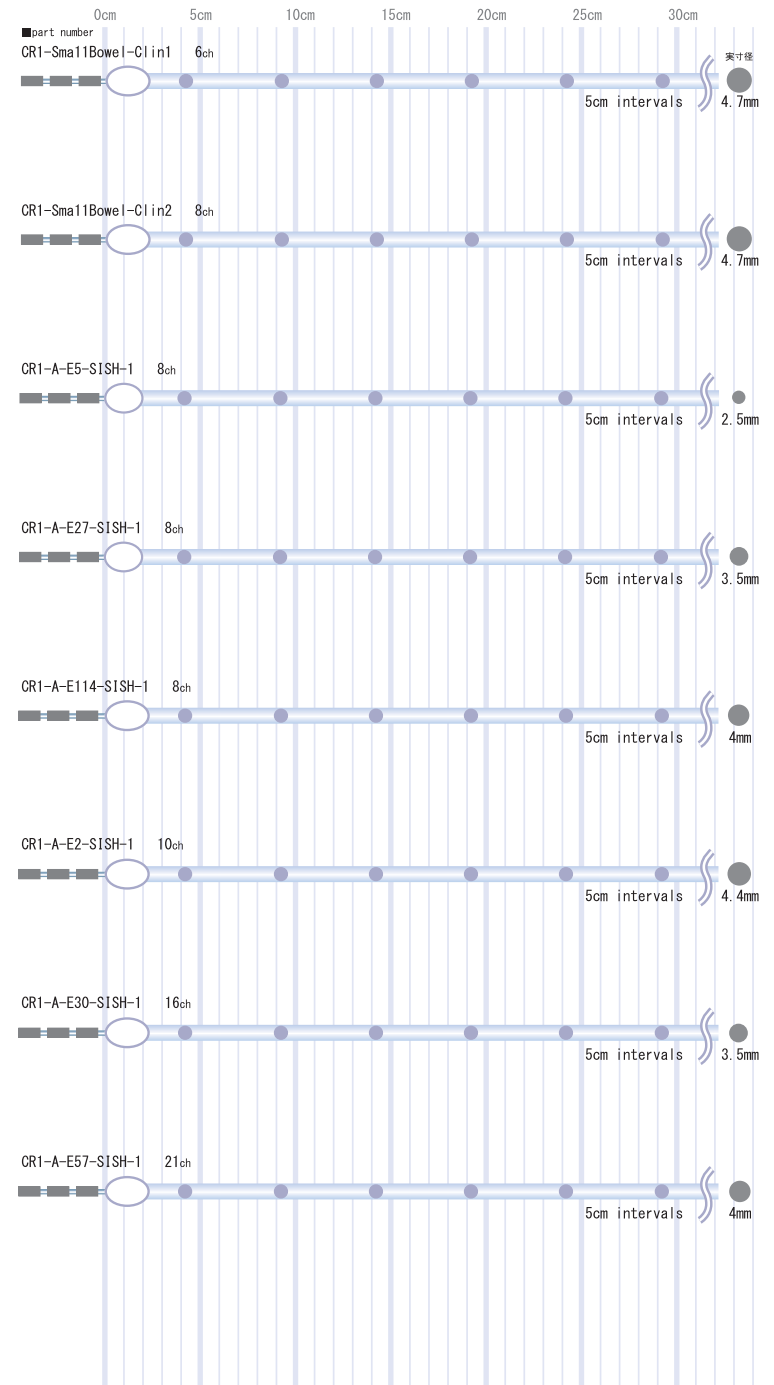
全長：170~180mm
ポディー外径：2.5mm~4.7mm

成人インフュージョン・アスピレーション用



全長：500mm
ポディー外径：3.0mm

成人小腸用

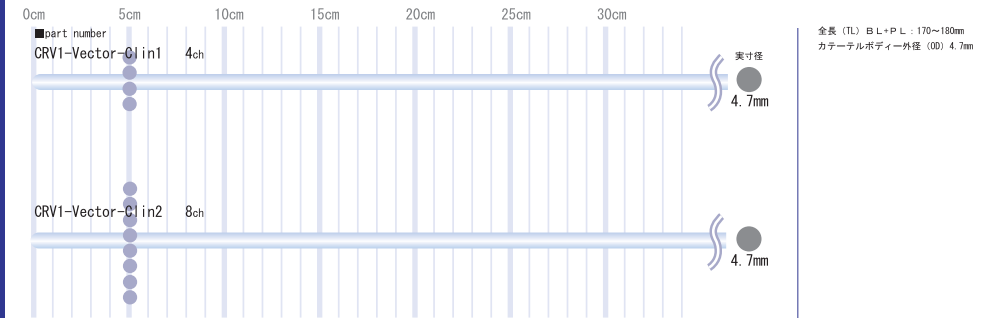


全長：250cm
ポディー外径：2.5mm~4.7mm

成人肛門直腸用



ベクトルボリューム用

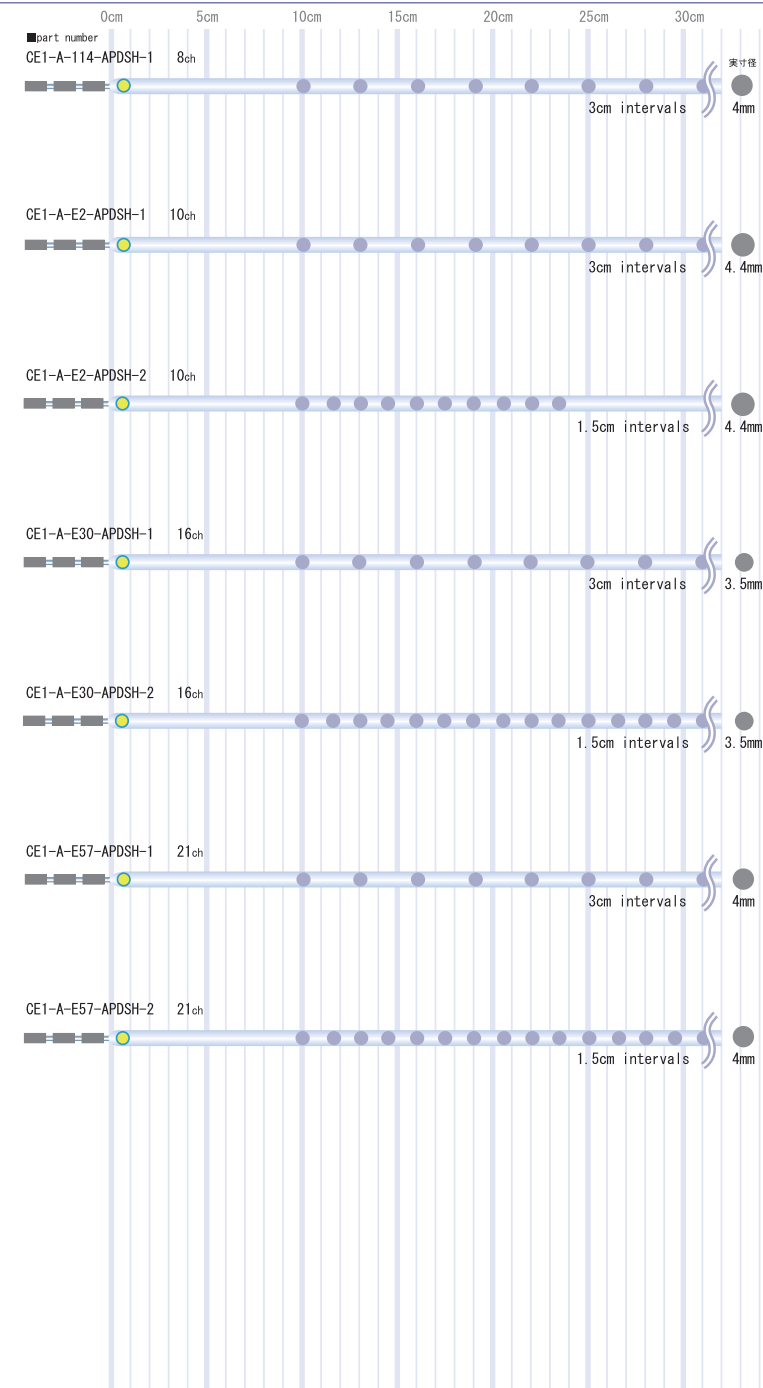


成人幽門洞十二指腸用



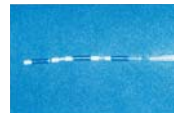
成人幽門洞十二指腸用

正確な幽門から十二指腸へ圧測定を可能にします。



全長 (TL) B L + P L : 200cm
カテーテルポディー外径 (OD) 2.5mm~4.7mm

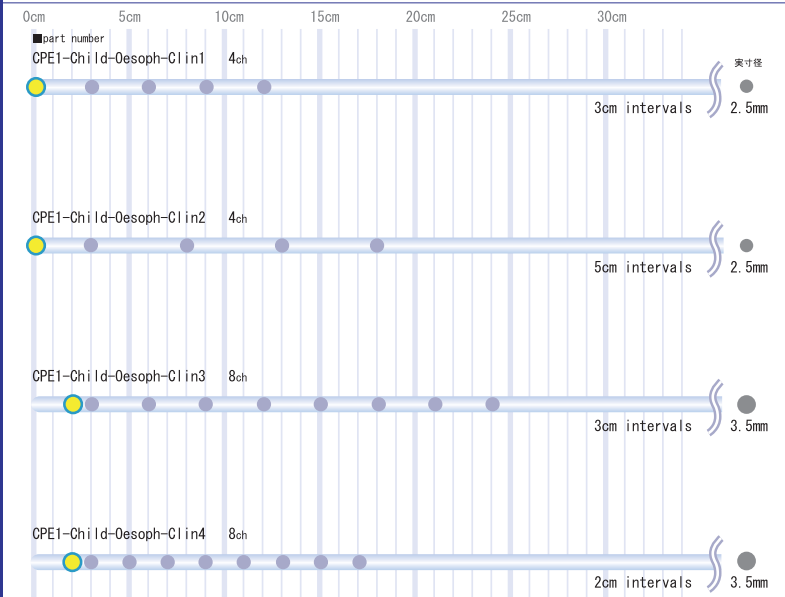
十二指腸・小腸圧測定用カテーテルでは幽門部において正確な圧測定は不可能です。スリーブ付きの幽門圧測定用カテーテルをご使用ください。



連結ウエイト

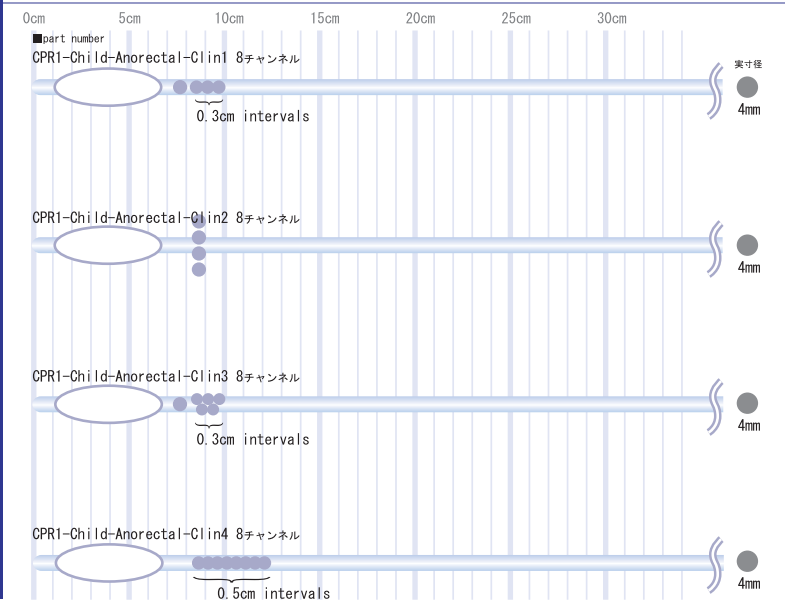
小児食道用

小児から新生児までの内圧測定に使用します。



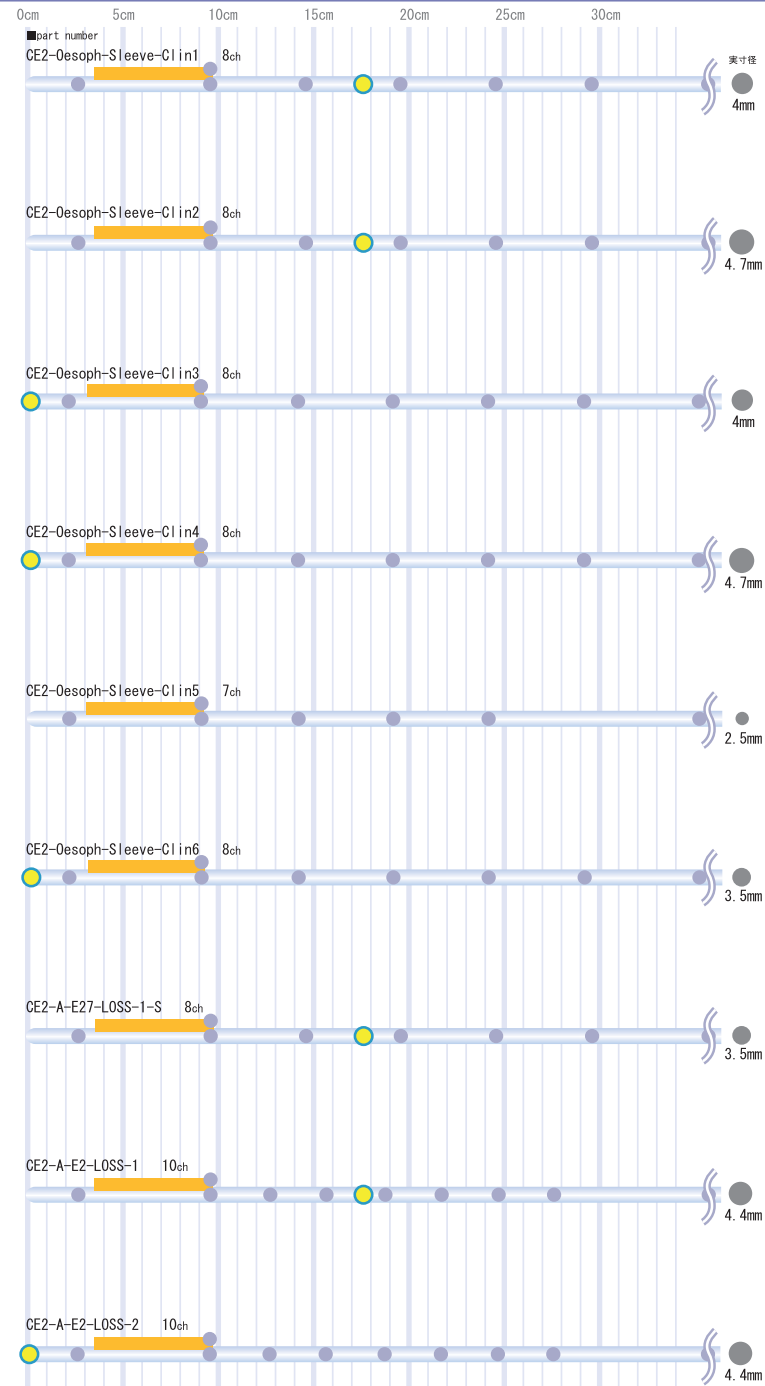
全長 (TL) B L + P L : 170~180cm
カテーテルポディー外径 (OD) 2.5mm~3.5mm

小児肛門直腸用



全長 (TL) B L + P L : 170~180cm
カテーテルポディー外径 (OD) 4.0mm

成人下部食道用スリーブカテーテル



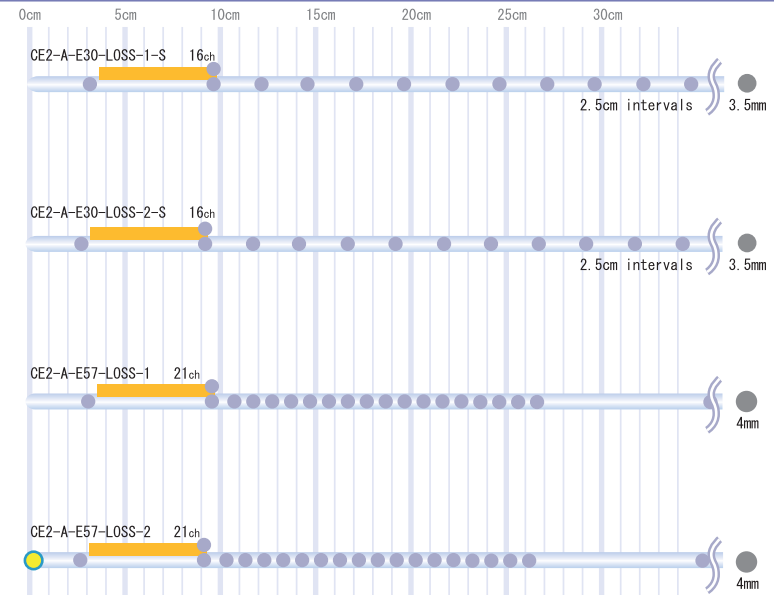
全長 (TL) B L+P L: 170~180mm
カテーテルポディー外径 (OD) 2.5mm~4.7mm



引き抜きや従来のスリーブなしのカテーテルでひつようだった頻繁な留置位置の修正は必要ありません。

すべてのデザインにおいてもProximalに配置されたサイドホールは、咽頭部でのエア・バフュージョンによる嚥下測定に用います。

世界中の多くの臨床現場で、A-E1-LOSS-1, A-E1-LOSS-2, A-E27-LOSS-1, A-E27-LOSS-2が使用されています。



全長 (TL) B L+P L: 170~180mm
カテーテルポディー外径 (OD) 2.5mm~4.7mm

成人上部食道用スリーブカテーテル UES (上部括約筋) 圧測定用のスリーブ付カテーテルです。咽喉、UES、食道体部と続く一連の内圧変化の測定に用います。



全長 (TL) B L+P L: 170~180mm
カテーテルポディー外径 (OD) 3.5mm~4.7mm

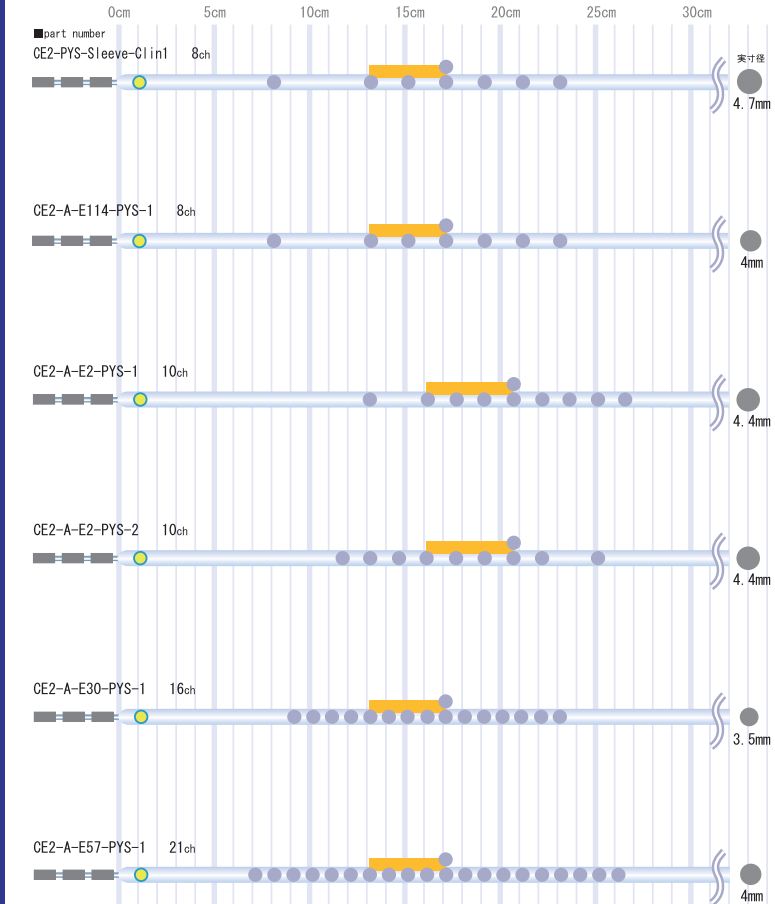
咽頭部から複数のサイドホールをスリーブ中心部まで配置しています。
スリーブによる括約筋の弛緩圧測定を行なうことでDysphagia (嚥下困難) 等の感度の高い測定を可能にします。世界中の臨床現場で多く使用されているデザインです。(末尾UOSS-1, UOSS-3)

USEにおける弛緩から食道における蠕動運動のより詳しい検証に最適です。

使用されているスリーブは括約筋内で常に一定方向に保たれるように長円形の断面をしています。これは持続的な内圧変化を測定するために最適です。(括約筋内の圧は必ずしも放射所に360度均一にかかっていません。)

挿入はガイドワイヤーを使いX線/内視鏡透視下で使用することにより、安全に行なうことができます。ワイヤー使用には、E2, E56のカテーテルをお勧めします。

成人幽門用スリーブカテーテル 正確な幽門から十二指腸へ圧測定を可能にします。



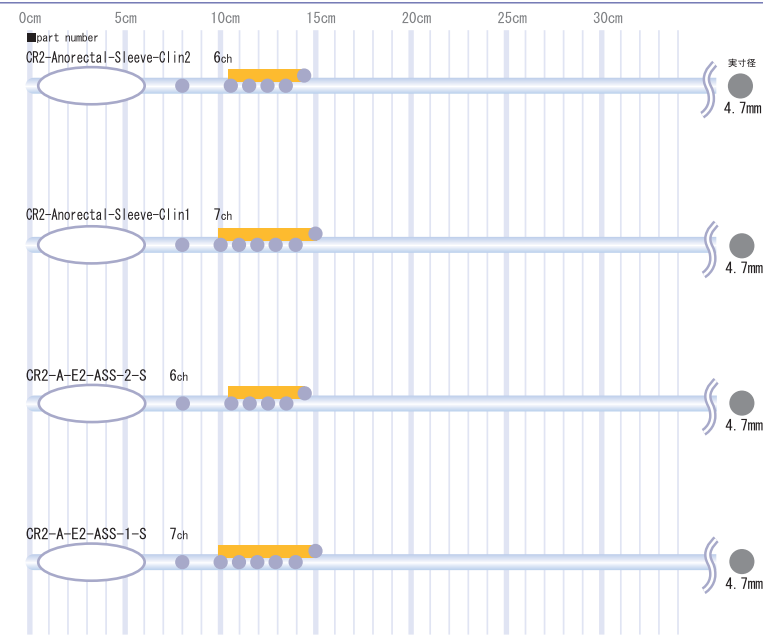
全長 (TL) B L+P L: 200~210mm
カテーテルポディー外径 (OD) 3.5mm~4.7mm

幽門周辺での正確な圧測定には、なるべく小さな間隔でサイドホールを配置する必要があります。これは一度の収縮の中で1cmほどの部位が変わっただけでも内圧が著しく変化するためです。最大でも1.5cmの間隔が幽門洞から幽門にかけて配置されているものが望ましいと考えられています。

スリーブの使用は十二指腸での圧収縮、周期的収縮の測定精度を高めます。これからの変化は大人でも3~4cmと非常に狭い間隔で発生します。このため従来の充分小さな間隔と考えられるサイドホールのみでの配置では正確な圧測定とは言えないケースがありました。

成人肛門直腸スリーブカテーテル

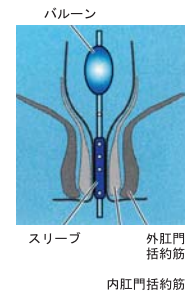
内肛門括約筋、外肛門括約筋における内圧測定に使用します。



全長 (TL) B L + P L : 170~180mm
カテーテルボディ-外径 (OD) 2.5mm~4.7mm

複数のサイドホールを小さな間隔で括約筋内に配置することで内肛門括約筋、外肛門括約筋の様々な活動による変化を捉えることができます。

スリーブの使用により括約筋部の最大圧を内肛門括約筋、外肛門括約筋からの影響に問わず捉えることができます。直腸への水漏れによる生理的な影響を最小限に押さえることができます。



小児下部食道用スリーブカテーテル

小児から新生児までの内圧測定に使用します。



全長 (TL) B L + P L : 170~180mm
カテーテルボディ-外径 (OD) 2.5mm~3.5mm

小児・幼児用カテーテルは基本的に大人用カテーテルのスケールダウンであり、多くの用法、選択の基準(測定部位による)において同一です。

※注

新生児への使用に際しては以下の点に注意してお使いください。

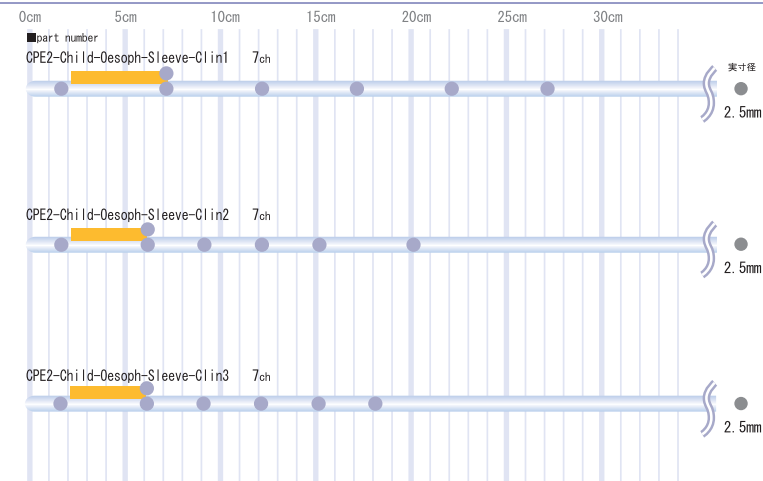
・使用前のカテーテル、ポンプのマニフールド、レジスター(キャピラリー)内からバブル抜きを徹底すること。

・測定に必要な非常に低レベルかつ安定したインフュージョンレートをコントロール可能なポンプ、レジスターを使用すること。

・使用毎のカテーテル、及びコンパクト・レジスター(シリコン製)のオートクレーブ滅菌の徹底をすること。以上を行うことが本カテーテルを使用する際の安全かつ正確な測定に不可欠です。

小児下部食道用スリーブカテーテル

小児から新生児までの内圧測定に使用します。



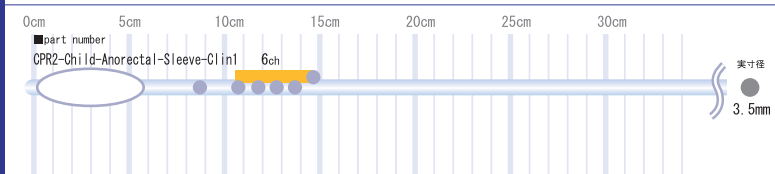
全長 (TL) B L + P L : 170~180mm
カテーテルボディ-外径 (OD) 2.5mm~3.5mm

小児では通常直径3.5mm程度のカテーテルが最適だと考えられていますが、直径が小さくなるほど患者への負担が軽減されます。

スリーブ付カテーテル使用により持続的な測定が可能になるため、位置修正に伴う患者への負担は大幅に軽減できます。

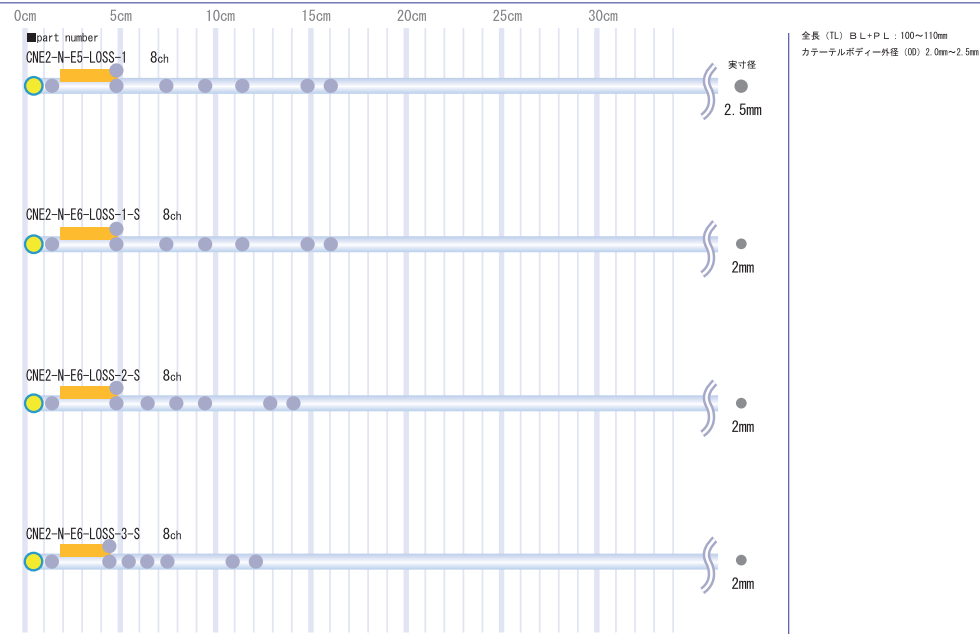


小児肛門直腸用スリーブカテーテル

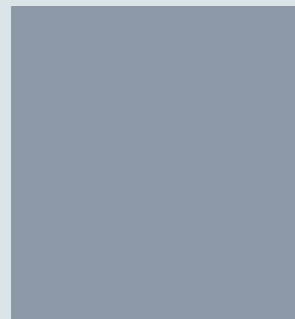
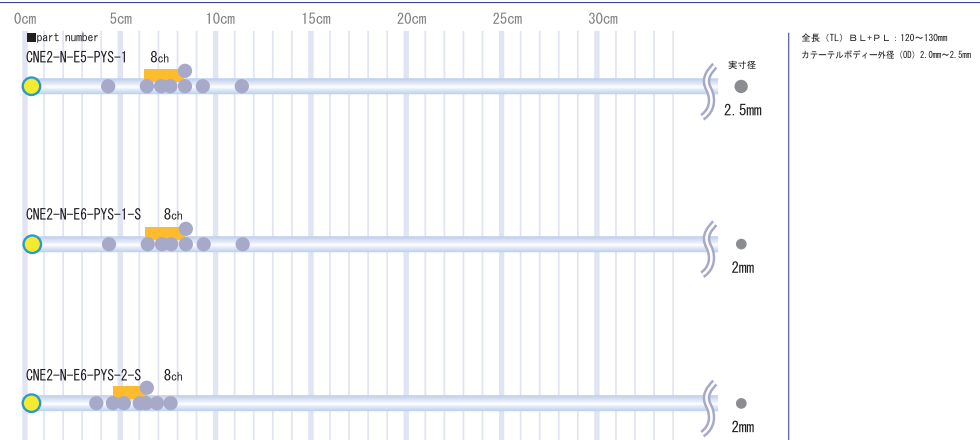


全長 (TL) B L + P L : 170~180mm
カテーテルボディ-外径 (OD) 3.5mm

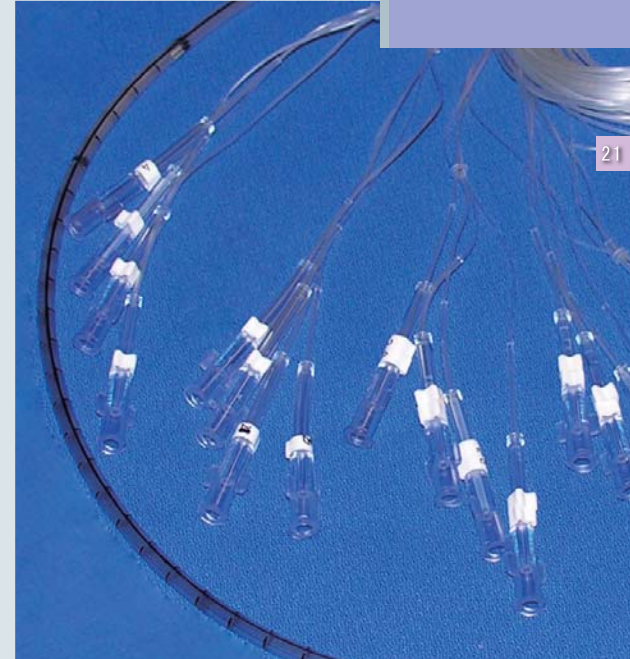
新生児食道用スリーブカテーテル



新生児幽門用スリーブカテーテル



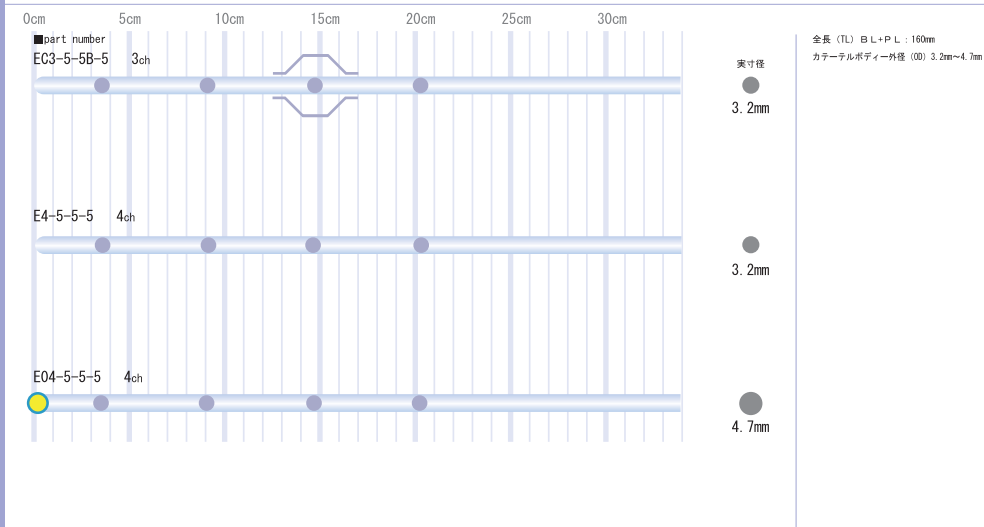
ダミーコピーでの測定にはできる限り小さな間隔で配置されたサ使用をお勧めします。



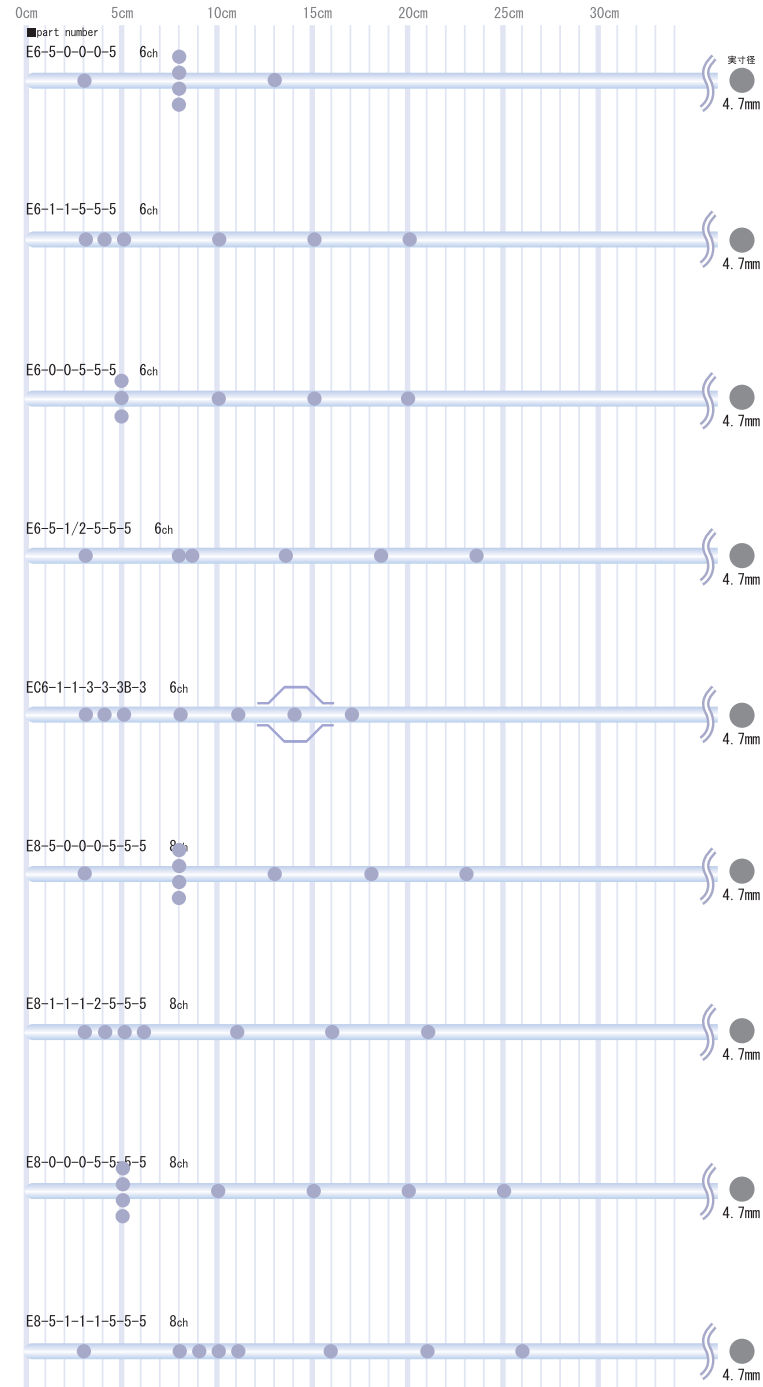
塩ビ製カテーテル

ダミーコピーテルはオートクレーブが可能のため、アルデヒド等の消毒剤がカテーテル全体に行き渡らないことによる不完全滅菌がなくなり、院内感染への万全な対策ができます。また、消毒液残留による事故も防ぐこともできます。シリコン製カテーテルは非常に柔らかく、患者への挿入が容易です。特に小児、新生児への測定に高い許容性が実証できます。

食道マノメトリック用

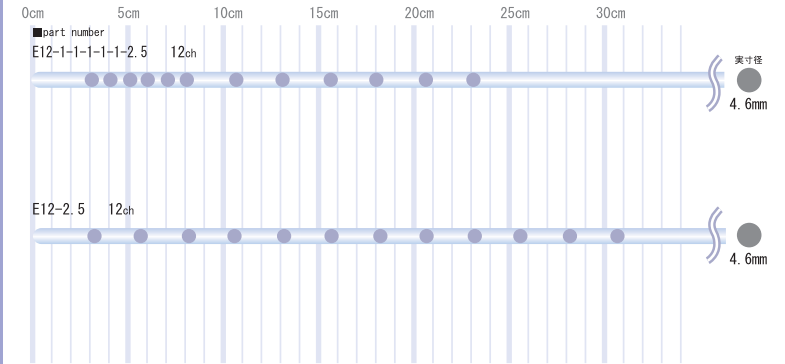


食道メトリック用

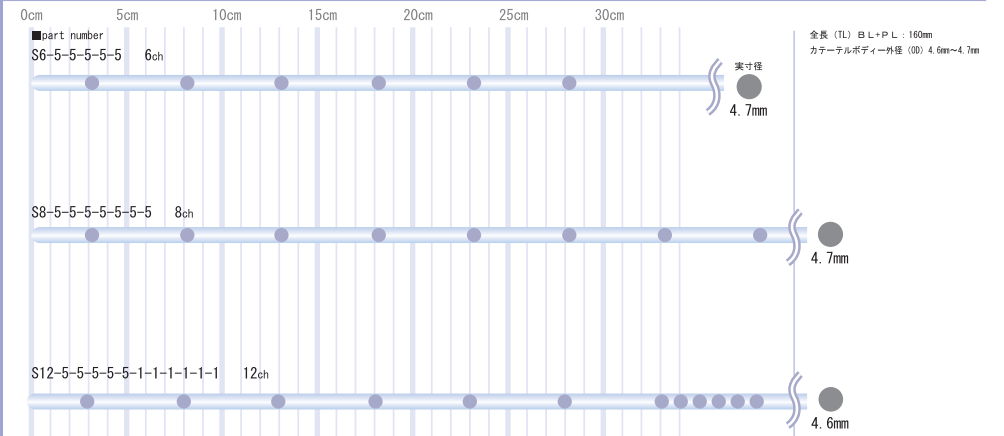


全長 (TL) B.L+P.L : 160mm
カテーテルポディー外径 (OD) 3.2mm~4.7mm

食道メトリック用

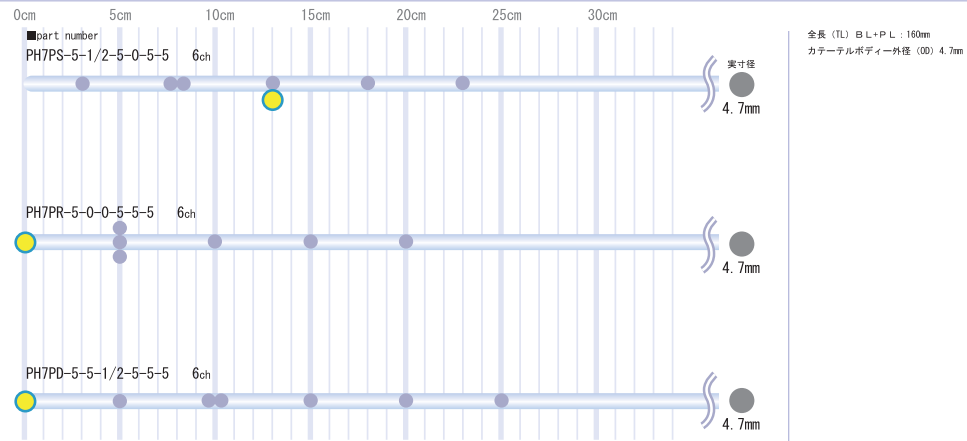


小腸メトリック用

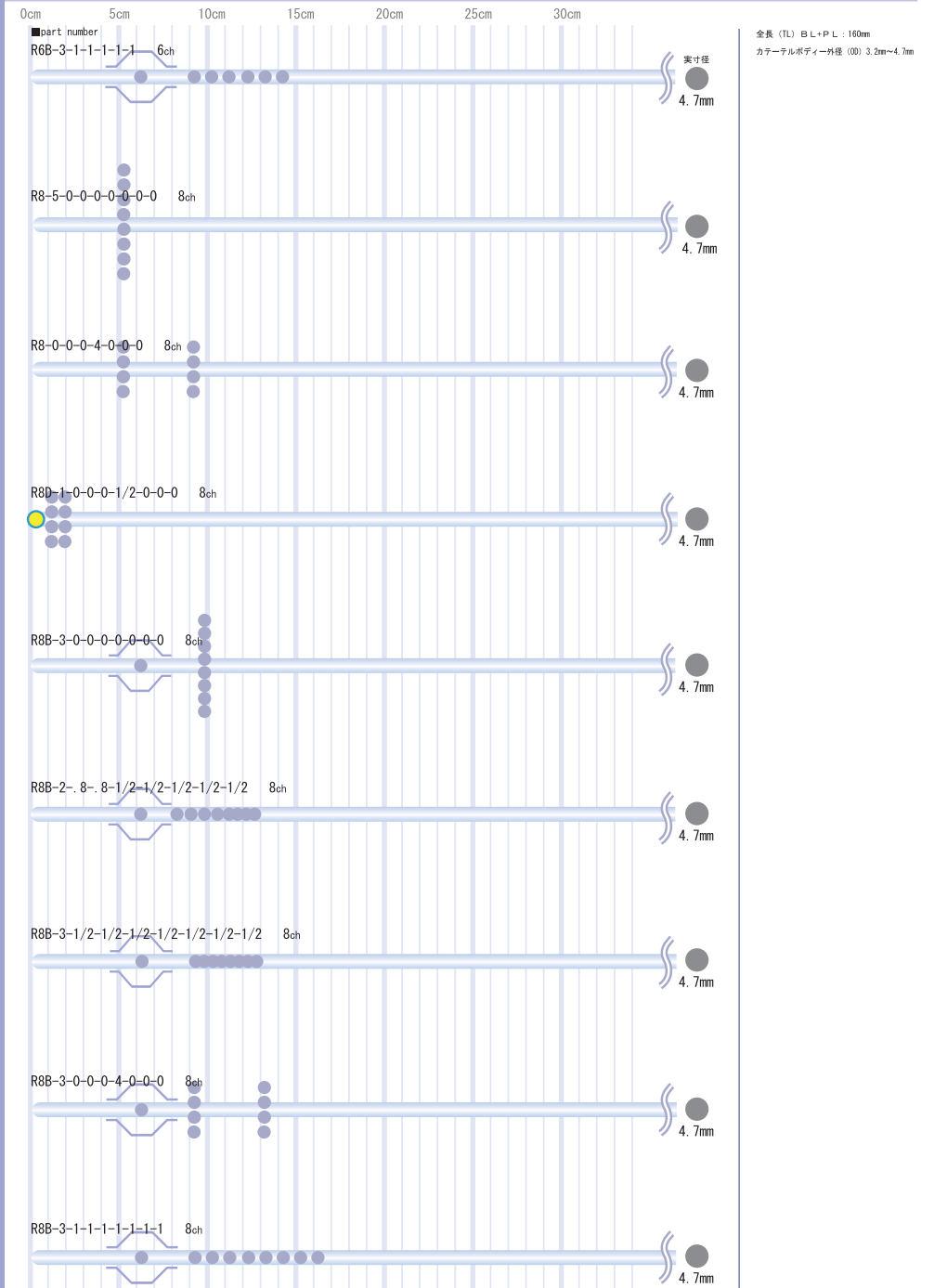


全長 (TL) B.L+P.L : 160mm
カテーテルポディー外径 (OD) 4.6mm~4.7mm

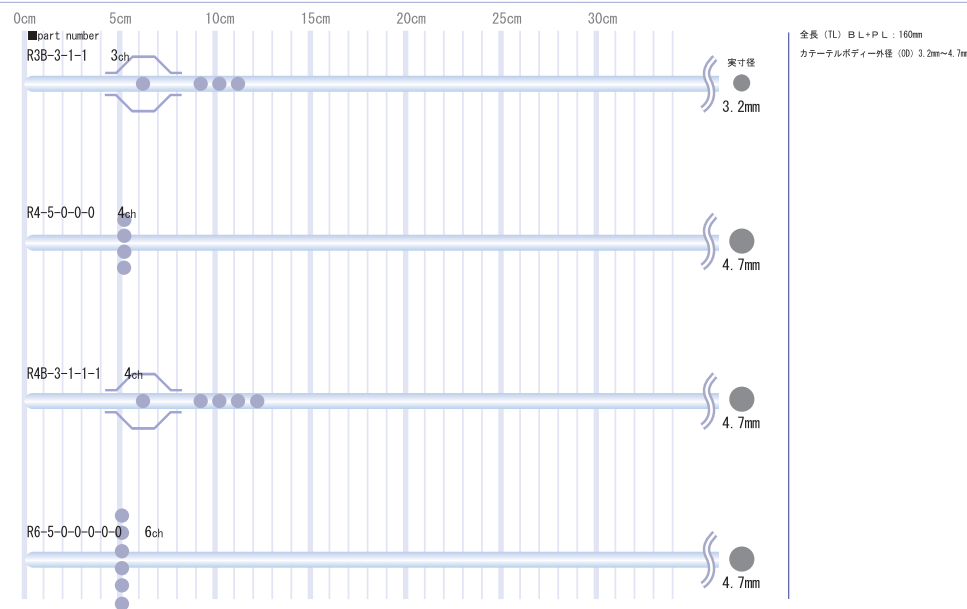
酸負荷マンOMETリック用



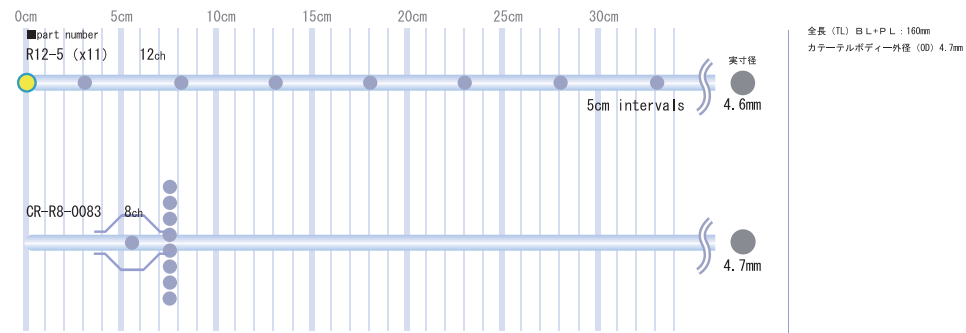
肛門直腸マンOMETリック用



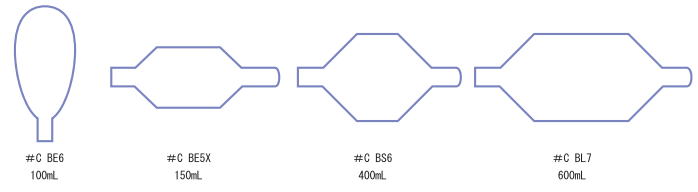
肛門直腸マンOMETリック用



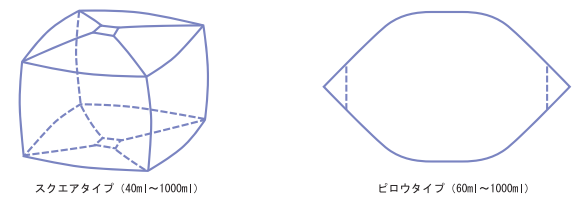
肛門直腸マノメトリック用



交換用TPEバルーン



交換用ポリオレフィンバルーン



小児マノメトリック用



インフォメーション スペース